

品質・環境報告書2025

期間2025年4月1日～2026年3月31日

2026/04

 **セイノー情報サービス**

厚木事業所

2026 V1.0

目次

1. ごあいさつ
2. 会社概要（組織の状況及び適用範囲）
3. 品質方針、環境方針
4. 適用組織
5. 品質改善及び環境負荷軽減の全体像
6. 品質及び環境への取組み
7. 当社の内部外部の課題及び利害関係者の状況
8. 品質パフォーマンス
 - ①製造工程品質
 - ②デリバリー品質
9. 環境側面
10. 環境パフォーマンス
 - ①温室効果ガスの軽減
 - ②グリーン購入の促進
 - ③廃棄物の軽減
 - ④リサイクル活動の促進
11. 顧客の状況
12. 緊急事態への対応
13. 社会貢献活動・コミュニケーション

1.ごあいさつ

地球と人にやさしい企業へ

当社は、神奈川県厚木市の長谷地区という流通団地に立地し、経済の大動脈である物流を通して新しい価値創造に邁進する企業集団の一員として、その持てるノウハウを最大限活用した I T インフラの構築・運用のアウトソーシングサービスを提供し、顧客に信頼され、満足を超えた感動を与えることを目指しています。

2004年に品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得し、お客様に満足していただけるよう品質向上を目指して、「勘」等に頼る作業の撲滅、作業レベルの均一化による品質のばらつき低減、不良発生率の低減に取り組んでいます。

2006年に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、一般的な製造工場のように明らかに環境へ悪影響を及ぼす側面はありませんが、少しでもこの美しい地球環境を守るために「温室効果ガス排出の削減」、「廃棄物の減量化」、「資源の有効活用」、「環境保全に関する法の順守」、「地域社会への貢献」等に取り組んでいます。

また、地域の方々との繋がりを大切にして、この地球の環境を次世代まで引継ぐことができるように環境保全活動に取り組んでいます。



2026年4月
株式会社セイノー情報サービス
厚木事業所 蓮実 誠

2. 会社概要（組織の状況及び適用範囲）

株式会社 セイノー情報サービス厚木事業所	
適用事業所	①株式会社 セイノー情報サービス 厚木事業所 ②株式会社 セイノー情報サービス 厚木第2物流センター3F
事業所所在地	①〒243-0036 神奈川県厚木市長谷6-9番地 ②〒243-0036 神奈川県厚木市長谷123
事業所連絡先	Tel:046-270-7701（代表） Fax:046-250-0376
適用事業（組織の機能）	IT機器のカスタマイズサービス
適用組織	本紙7ページ参照
外部及び内部の課題	本紙9ページ参照
利害関係から要求される遵守義務	本紙9ページ参照
管理し影響を及ぼす、組織の権限及び能力	セイノー情報サービス厚木事業所内に限る権限及び能力

「組織の単位」及び「物理的境界」

2. 会社概要（組織の状況及び適用範囲）

主な環境負荷・環境影響	
電気使用量	285,429w（前年比+1.2%）
ガス使用量	9m ³ （前年比-18.2%）
排気ガス排出量	0m ³ （フォークリフトは充電式を使用）
水道使用量	366m ³ （前年比+10.0%）
下水	生活排水のみ
焼却設備	なし
フロンガス抑制	法基準遵守・自主点検を実施



セイノー情報サービス 本社

設立年月日

1984年3月1日

資本金

100,000,000円

本社

岐阜県大垣市田口町1番地

H/P

<https://www.siscloud.jp/>

3. 品質方針、環境方針

品質方針

経済の大動脈である物流を通して新しい価値創造に邁進する企業集団の一員として、その持てるノウハウを最大限活用したITインフラ構築・運用のアウトソーシングサービスを提供し、顧客に信頼され、満足を超えた感動を与えることを目指します。

1. PDCAサイクルを主体とした問題の管理を行い、問題の早期解決と共に「歯止め」「横展開」を行い再発を防止する。
2. 生産性向上及びコスト削減に取り組み、「WIN-WIN」の最適な価格を実現する。
3. 人材育成へ取り組み、物流技術・IT技術・ヒューマンスキルを強化する。
4. 社員全員がこの品質方針を理解し、要求事項へ適合し、品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善を実施する。
5. 品質方針に基づいて品質目標を設定し、更に部門目標を作成することで目標展開する。

環境方針

1. 啓蒙活動の推進
社員全員が「今、地球の為に自分は何ができるのか」を考え、会社の業務だけではなく、家庭における日常生活においても意識改革を行えるよう、環境保全活動を積極的に推進する。
2. 環境目標
環境方針に基づいて環境目標を設定する。
3. リーダーシップの推進
エネルギーや資源の節減、グリーン購入の推進、環境美化活動及び汚染の予防等を行い、「地球に優しい企業」として、社会に貢献するため積極的に活動する。
4. 法規制（自主基準も含む）の順守及び、情報の開示
法規制並びに自らが定める要求事項を順守し、社員全員一丸となって環境保全に取り組む事を宣言する。
また、環境理念・環境方針等、当社が社会に貢献する活動に関する情報を開示する。
5. 継続的改善
当事業所は上記達成にむけて、たゆまぬ継続的改善をおこなう。

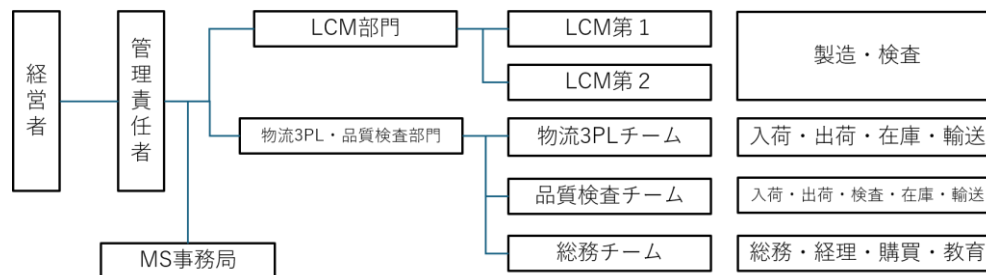
4. 適用組織

5. 品質改善及び環境負荷軽減の全体像

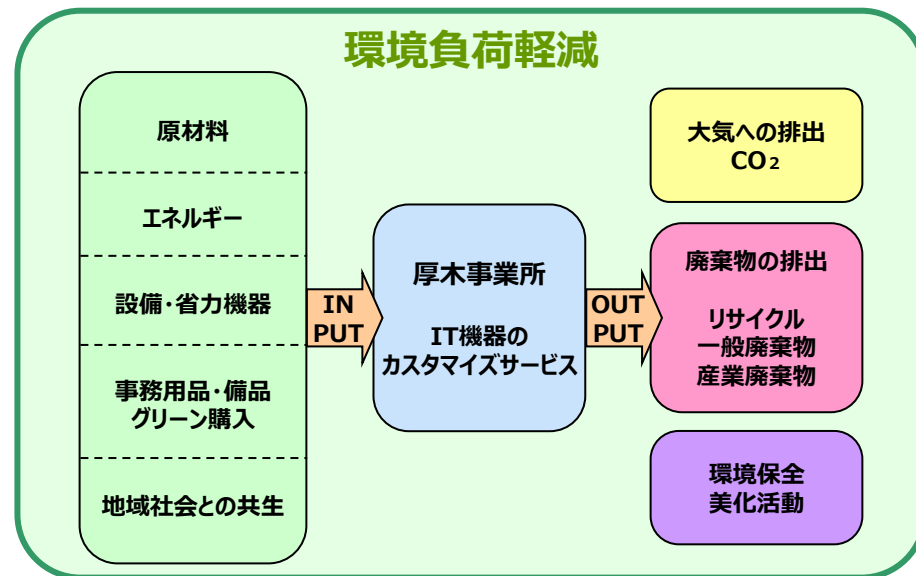
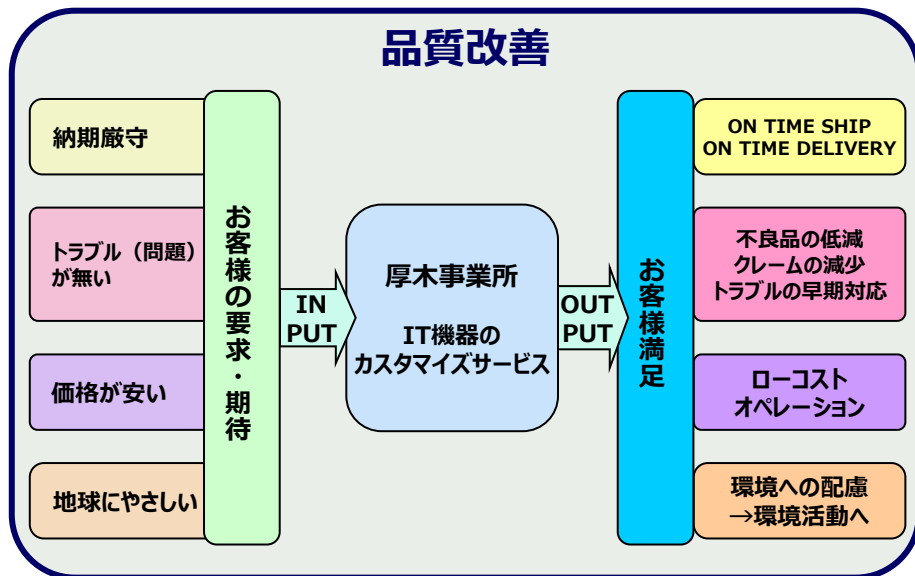
適用組織

株式会社セイノ情報サービス厚木事業所は、右記の組織で運営しています。

(物理的境界)



品質改善・環境負荷軽減の全体像



6. 品質及び環境への取組み

品質・環境目標を定め、各実施項目に従い、品質向上への取組み、環境負荷の軽減や保全等の活動を行いました。

品質向上の活動

2025年度活動(品質・環境目標)

目標	結果		
1.多能工化・省力化を推進し、リソースマネジメントを支えるシェアリング体制を確立する。	全部門が当年度の目標を達成した。効果があったと判断する。	○	
2.法規制対象への監視度を高め、情報公開等の実施によるコンプライアンス意識の向上を促進する。	1.空調室外機を四半期に1回、自主点検して結果を遵守記録として情報公開する。 (同時に年2回の室内機のフィルター清掃も主導する)	遵守記録の作成/公開および自衛消防訓練の計画/実施ともに、年度内に予定通り実施出来た。	○
	2.消防設備の半年法定点検結果を精査して結果を遵守記録として情報公開する。 (同時に年1回の自衛消防訓練の実施も主導する)	遵守記録の作成/公開および自衛消防訓練の計画/実施ともに、年度内に予定通り実施出来た。	○
	3.産業廃棄物管理票及び処分場の監視を定期的に行い結果を遵守記録として情報公開する。	今年度は処分場の視察を行うことができた。	○
	4.分別処理の定期的監視を行い結果を遵守記録として情報公開する。	美化活動やごみの見回りなどを計画通り実施することができた。	○

環境保全への活動

環境側面の測定

目的	目標	結果	評価	備考
温室効果ガスの削減	・電気使用量の削減 対前年より若干増加	・達成率 前年比 102.6%	○	
	・グリーン購入 前年度よりシェアアップ	・達成率 前年比 124.8%	○	
廃棄物の削減	・排出量の削減 業務量増加による影響	・達成率 前年比 214%	△	今期は特異な排出が発生した。
	・リサイクルの促進 前年度より改善	・達成率 前年比 139.8%	○	
資源の有効活用	・コピー使用量の削減 前年度と変化無し	・達成率 前年比 115.8%	○	
	・コピー裏紙の再利用 利用率100%	・達成率 前年比 100%	○	
環境管理の改善	・待機電力の削減 スイッチ式タップの運用徹底	・全検査端末の実施確認	○	
	・不適合発生による環境負荷の低減 リカバリーの残業時間の低減	・不適合件数の改善	○	不適合発生件数「0」
法順守	・マニフェストの管理 期日内の改修の確認 委託業者の管理状況の確認	・返却漏れ、期日、見回りの順守	○	
	・産業廃棄物の保管場所の管理 設置場所表示看板の更新	・設置場所の表示看板	○	6月に実施
	・自衛消防訓練の実施 年1回の実施	・自衛消防訓練を実施	○	6月に実施
	・空調機の定期点検(簡易点検) (3カ月毎の点検)	・4月,7月,10月,1月に実施	○	
地域社会との共生 環境アピール活動	・環境美化活動の実施	・今年度は2回実施	○	
	・地域とのコミュニケーション	・参画する機会を得ず	△	近隣に住民の居住が無い

7. 当社の内部外部の課題及び利害関係者の状況

外部及び内部の課題

2025年度のSWOT分析結果を中心に外部内部の課題を特定した。

S：強み	
5年以上続いている取引先があり、強い繋がりをもっている	
倉庫料が他社と比べて安い、交通の要所(厚木)にあり輸送面で有利	
3PL案件については導入後の継続的改善活動の枠組み有り。他社は導入したら終わりが多い（Melosというツール、LLPサービス部という組織）	
W：弱み	
属人作業が改善されない(人的ミスが起きる)、現場作業優先意識が抜けない、施設・設備・機器の老朽化	
技術者が少ない、キッティング 価格が高い、教育の仕組み（スキルアップ）	
O：機会	
製造業を中心に物流機能を自前もしくはグループ内に持たずにアウトソーシングする傾向がさらに強まる	
社内的に大手企業との取引増加傾向で新規案件受注の機会が広まる	
検査対象機器の増加（請負範囲の拡大）	
T：脅威	
顧客からの要望が高度化し、それに対応できる資源確保が難しくなる	
派遣者の募集要件と応募者にスキルギャップがある	

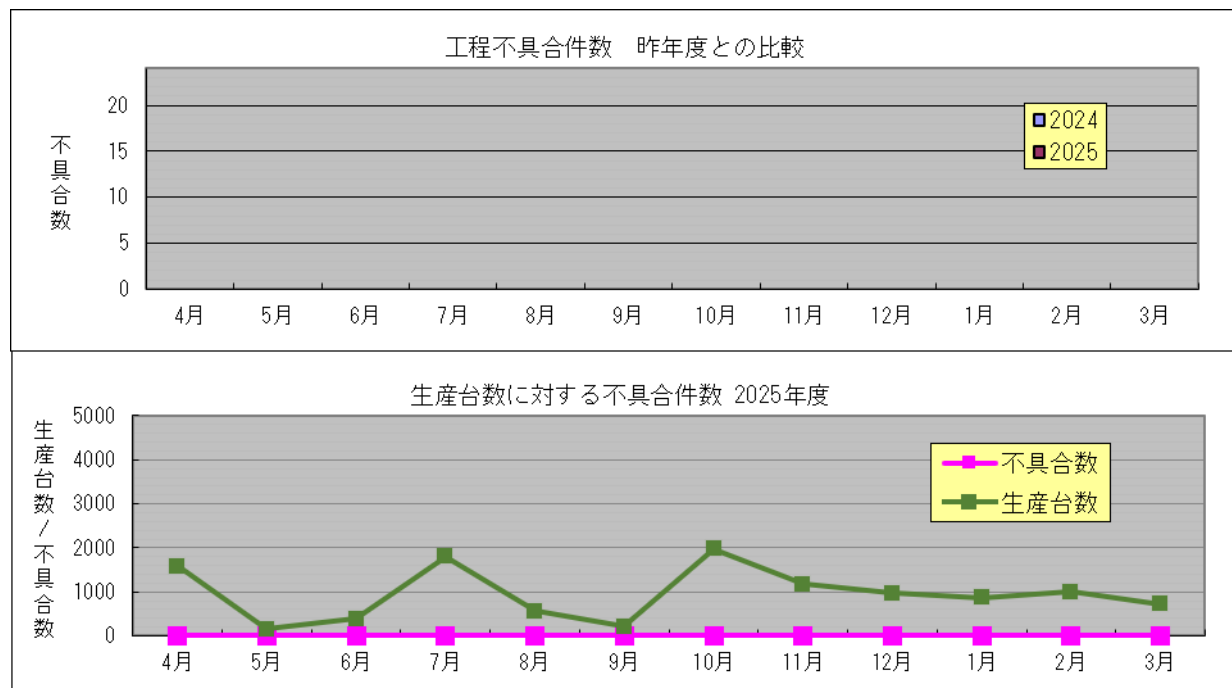
利害関係者及び遵守義務

統合マネジメントシステムに関する利害関係者		利害関係者の要求事項（ニーズ及び期待）
顧客	西濃運輸株式会社	契約上の義務（契約書・RFP）
	その他の顧客	法令・規制要求事項を満たした製品の供給
従業員	正社員、幹部社員、役員、契約社員 等	経営資源の適切な利用（順守義務） 教育訓練の確保
供給者 (購買先)	派遣会社、仕入先等	適宜・適切な情報提供 法順守
関係省庁	環境省	環境に関わる法令の遵守
	神奈川県	神奈川県の環境に関わる条例の遵守
	厚木市	厚木市の環境に関連する遵守事項 環境美化活動の申請及び報告

8. 品質パフォーマンス

①製造工程品質

品質は、高いレベルを維持していますが、さらに「不良0」を目指して取り組んでいます。
 昨年度に引き続き今年度は自責不具合の検出は「0」件となりました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
生産台数	1,575	159	385	1,796	556	216	1,982	1,177	966	868	1,002	725	11,407
2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2025	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不良率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

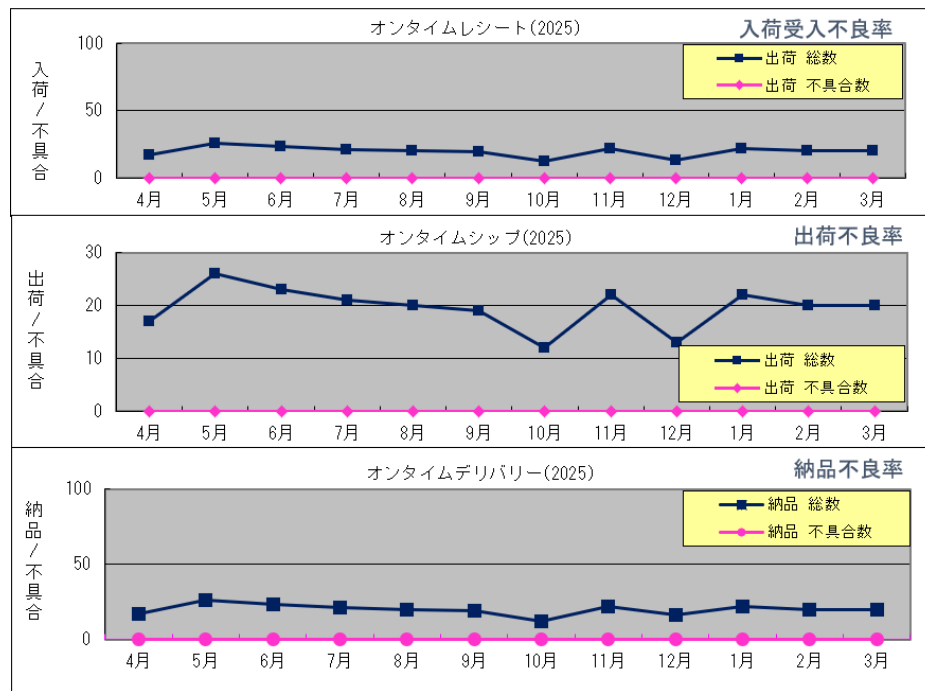
※不良率算定対象製造工程の有効性を評価しています

8. 品質パフォーマンス

②デリバリー品質

入荷受入及び出荷作業は、納期日、出荷日を厳守しており、遅延等は発生していません。

納品不良率は、運送業者の輸送能力に影響を受けませんが、今回は「0」にすることが出来ました。

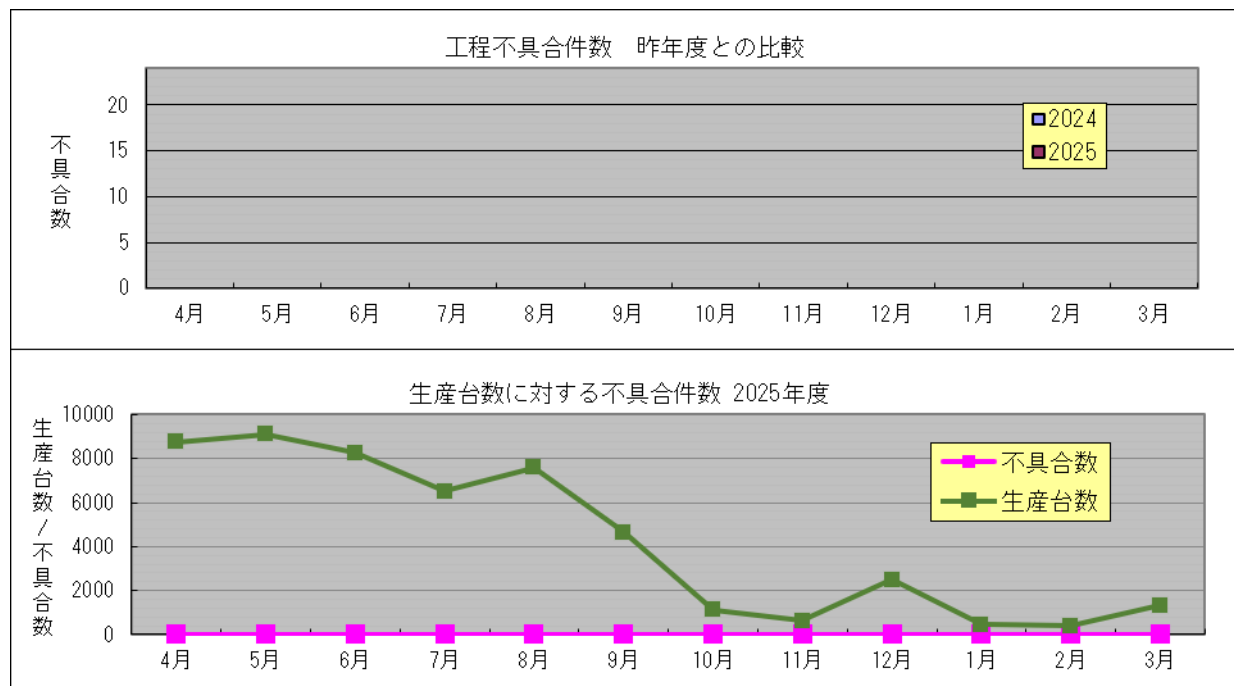


年度	業務別種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
2025	入荷	総数	54	109	51	105	30	68	107	24	62	96	67	82	855
		不具合数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出荷	総数	17	26	23	21	20	19	12	22	13	22	20	20	235
		不具合数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	納品	総数	17	26	23	21	20	19	12	22	16	22	20	20	238
不具合数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2024	納品	総数	22	15	30	35	30	25	18	20	32	15	18	19	279
		不具合数	0	2	2	3	2	4	0	0	0	0	0	1	14

8. 品質パフォーマンス

③検査工程品質

2025年度より新設された品質検査チームでも、「不良0」を目指して取り組んでいます。
今年度は自責不具合の検出は「0」件となりました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
生産台数	8,755	9,098	8,256	6,501	7,592	4,653	1,112	625	2,478	440	400	1,314	51,224
2024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2025	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不良率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※不良率算定対象製造工程の有効性を評価しています

9. 環境側面

著しい環境側面

冒頭でも述べておりますが、当社は生産工場とは異なり、環境への負荷はとても少ないです。下水への廃液や汚染は生活廃水に限定され、有毒ガスを排出する煙突もありません。キitting業務から出る不要部品の廃棄物や、作業で利用する電力等が主な環境に与える影響といえます。当社では、定期的に当社が与える環境影響を調査して、『著しい環境側面』を特定しています。



No.	環境側面	環境影響	定常	非定常	緊急	有害	有益
1	電気の使用 (エネルギー)	地球温暖化(CO2の排出)	○			○	
2	廃棄物の排出	土壌汚染	○			○	
		水質汚濁					
3	紙の使用	地球温暖化(CO2の排出)	○			○	
		天然資源の枯渇					
		自然破壊・減少					

更新日：2025年5月14日

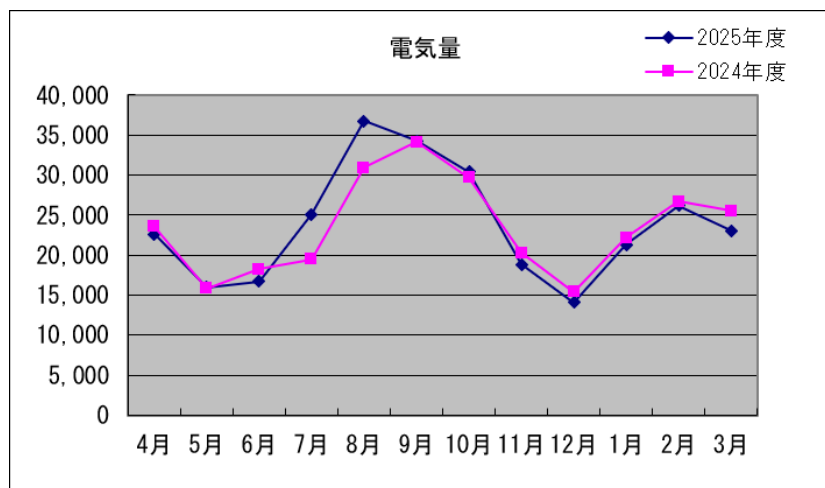
FT-2001-001

10. 環境パフォーマンス

2025年度の状況

① 温室効果ガスの軽減

電気使用量は、昨年度と比較すると1.2%の増加となりました。業務量（時間）に影響しますが、電気等のエネルギーの使用の節約を継続しています。

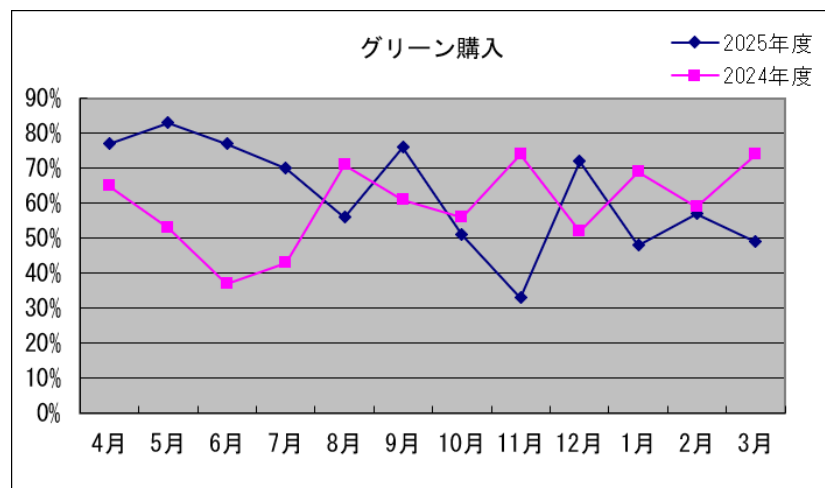


電気量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2025年度	22,656	16,020	16,713	25,112	36,738	34,265	30,427	18,824	14,095	21,324	26,183	23,072
2024年度	23,599	15,844	18,248	19,488	30,898	34,167	29,722	20,300	15,406	22,156	26,737	25,556

前年比：101.2%

② グリーン購入の促進

グリーン購入比率は、昨年度と比較すると4.9%の増加となりました。状況により多少の変動があります。グリーン購入を意識した活動を継続しています。



グリーン購入	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2025年度	77%	83%	77%	70%	56%	76%	51%	33%	72%	48%	57%	49%
2024年度	65%	53%	37%	43%	71%	61%	56%	74%	52%	69%	59%	74%

前年比：104.9%

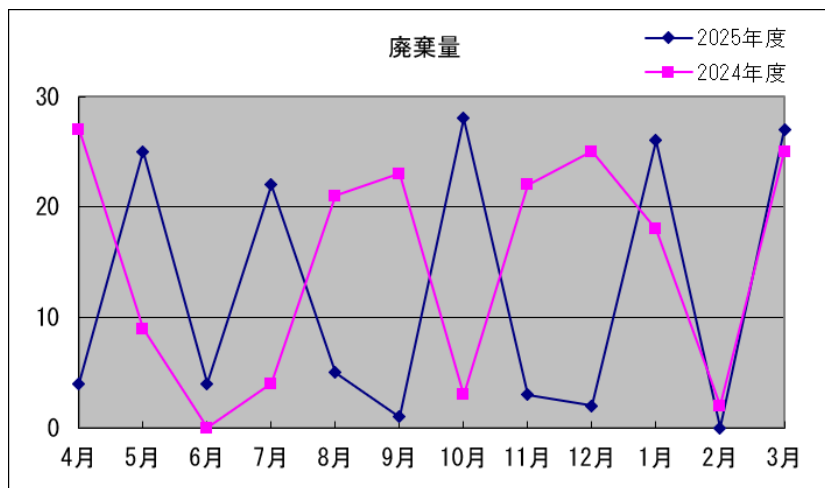
10. 環境パフォーマンス

2025年度の状況

③廃棄物の軽減

廃棄物の排出量は、前年度比82.1%と減少となりました。

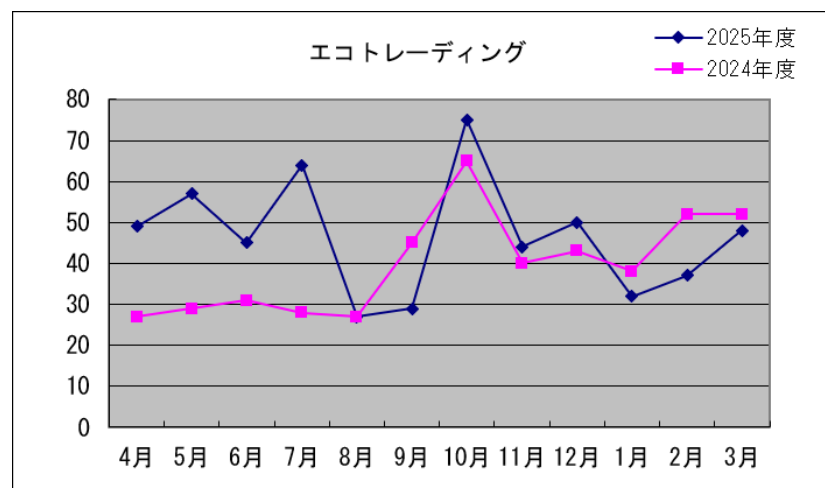
昨年度の特異な案件の処理がなくなったためです。



④リサイクル活動の促進

リサイクル率は、昨年度と比較すると16.8%の増加となりました。

リサイクル活動は継続して行っています。



廃棄量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2025年度	4	25	4	22	5	1	28	3	2	26	0	27
2024年度	27	9	0	4	21	23	3	22	25	18	2	25

前年比：82.1%

エコレーディング	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2025年度	49	57	45	64	27	29	75	44	50	32	37	48
2024年度	27	29	31	28	27	45	65	40	43	38	52	52

前年比：116.8%

1 1. 顧客の状況

顧客満足度調査

弊社では顧客満足度調査を下表のとおり実施しています。
 満足の評価が多いですが、さらに顧客満足を高めていく努力を行います。

社名	1. 貴社ビジネス・業務へのインパクトは		2. 弊社製品又はサービスについて (3PL)							
	ビジネスインパクト	お気付きの点	2-1 サービス内容	2-2 コスト	2-3 納期	2-4 品質	2-5 導入効果	2-5 改善活動	2-6 総合評価	2-7 重要視されているもの
I社	大変プラス		満足	大変満足	満足	大変満足		満足	大変満足	納期
P社	プラス		満足	満足	大変満足	大変満足	満足	満足	満足	サービス内容
S社	プラス		満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	なし
N社	プラス	SIS様との現在、現時点の取引内容には満足しています	満足	やや満足	満足	満足		やや満足	満足	当社のビジネス内容に応じたQCD
P社	大変プラス		大変満足	満足	満足	大変満足		満足	満足	品質
S社	プラス		満足	満足	満足	満足		満足	満足	価格
N社	大変プラス		満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	品質

12. 緊急事態への対応

13. 社会貢献活動・コミュニケーション

自衛消防訓練

「火災発生時に適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、併せて全要員の防火意識の向上を図ることを目的として防災訓練を行っています。

2月に実施し、避難終了までの目標時間を短縮することができました。



廃棄物処理場の視察

「私たちが排出した廃棄物が、どのような処理をされ地球に戻っていくのかを観察するため定期的に廃棄物処理場などを視察しています。コンプライアンスの順守の確認、環境に悪い影響を与えている活動を行っていないか等を見学及び業者のヒアリングを通して確認しています。



許可年月日	19年12月22日
許可番号	1423000608
事業の種類	産業廃棄物中間処分業
氏名又は名称・代表者	カナキン株式会社代表取締役 田代 豊 隆
住 所	神奈川県平塚市東八幡3-2959-1 連絡先 0463-21-1811
施設の設置場所	神奈川県平塚市東八幡3-2959-1
施設の名称	中間処分施設(破砕・圧縮)
取扱産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、金属くず、ガラスくずおよび陶磁器くず、木くず、繊維くず
許可の期限	令和9年10月21日

環境美化活動

「厚木市まち美化パートナー」として、地域コミュニティの交流を活発にしていこうことや近隣にお住まいの皆様との愛着を育んでいくことに取り組んでいます。

毎年、年間計画に定め、当所周辺の美化活動を行っています。



この品質・環境報告書は、株式会社セイノー情報サービス 厚木事業所の2025年度の活動をまとめたものです。本報告書について皆様から貴重なご意見・ご感想・ご指導を頂き、更なる改善を図ってまいります。

株式会社セイノー情報サービス 厚木事業所は、地域住民との繋がりを大切にし、品質の良い製品作りと環境に配慮した企業として自他ともに認めてもらえるよう品質向上と環境保全を積極的に取り組んでいきたいと思っております。



ReBUILD & MANAGE

「品質・環境報告書2025」に関するご意見・お問合せ
株式会社セイノー情報サービス LCMグループ
厚木事業所 総務チーム
〒243-0036 神奈川県厚木市長谷6-9
電話：046-270-7701 FAX：046-250-0376